

リーゼミの葉

平成20年度 中四国学生剣道連盟
リーダーゼミナール

『瀬戸内の地、江田島でレベルの高いリーダーとしての資質を磨こう』

平成21年3月7日(土)～9日(月)

国立江田島青少年交流の家

中四国学生剣道連盟



生活心得

有意義なゼミナールとするために良識ある行動をとりましょう

1. 学生らしい行動をとること
2. 時間厳守で行動すること
3. 一般の利用者に迷惑になるような行動は慎むこと
4. 非常口を確認しておくこと（火の取り扱いには十分注意すること）
5. 急用のため、外出や途中退出する場合には責任者の了解を得ること
6. 自己の健康管理につとめ、健康で安全な生活をする
7. 施設・設備を大切にし、利用した設備の収納清掃に留意すること
8. ごみは分別し、所定に場所に捨てること
9. 起床と同時に寝具の整頓をすること
10. トイレなどにおける履物の整頓を怠らないこと
11. 入浴時は浴槽にタオルをつけない
12. 消灯後は静かに休むこと

* 注意事項

- ・ 未成年者は喫煙を慎む、成年者も所定の場所で喫煙すること
- ・ 責任者の指示に従い、勝手な行動はとらないこと
- ・ 事故が発生したときは、速やかに責任者に報告すること

携行品

- ① 紅白のタスキ一組、剣道具一式
- ② 洗面用具、バスタオル、タオル、寝間着
- ③ 健康保険証に相当するもの
- ④ 上着（剣道着の上から羽織れるもの）

実施概要

日程：2008年3月7日（土）～9日（月） 2泊3日

会場・宿泊：国立江田島青少年交流の家 <http://etajima.niye.go.jp/>

〒737-2126 広島県江田島市江田島町津久茂1-1-1

TEL 0823-42-0660

主催：中四国学生剣道連盟

主管：広島国際大学剣道部

実行委員：磯中 竜一（実行委員長：愛媛大学）他、中四国学生剣道連盟学生役員10名

携帯

担当先輩役員：木原資裕先輩（鳴門教育大学）、榊康守先輩（徳山大学）、香川直己先輩（福山大学）他

日程

7日(土)		8日(日)		9日(月)	
		6:30	起床	6:30	起床
		7:10～	朝の集い	7:10～	朝の集い
		7:30～7:50	部屋の清掃	7:30～7:50	部屋の清掃
		7:50～	朝食	7:50～	朝食
		9:00～11:30	実技研修 パソコン 基礎研修	9:00～11:30	交流試合
11:30～12:00	受付	11:30～	着替え	11:30～12:00	閉会式 写真撮影
12:00～	昼食・更衣	12:00～	昼食	12:00～	昼食
13:10～	オリエンテーション			13:00	退所式
13:30～16:30	実技研修 パソコン研修(主務)	13:30～16:30	審判講習 (体育館)	13:30	解散
16:30～17:00	更衣・移動	16:30～17:00	更衣・移動		
17:00～	夕べの集い	17:00～	夕べの集い		
17:30～	夕食 入浴	17:30～	入浴		
20:00～21:00	リーダー資質向上 演習	19:30～21:00	交流会 (レストラン)		
22:00～	就寝準備	22:00～	就寝準備		
22:30	就寝準備	22:30	就寝準備		

特記事項

- ① 初日は玄関ロビーで受付を行います。ここで部屋の鍵を渡します。参加者名簿で同部屋の大学およびメンバーを確認しておいてください。
- ② 初日はオリエンテーションが体育館でありますので、更衣を済ませ、剣道具をもって、13:10までに体育館に集合してください。13:10からオリエンテーション開始です。その後、開会式をします。
- ③ 飲酒はレストランか談話室でしてください。
- ④ 入浴可能時間は17:30～20:00です。
- ⑤ 貴重品は自己管理を原則としますが、コインロッカーの利用も可能です。
- ⑥ シーツと枕カバーはリネン室にて受け取り、返却をしてください。返却は退所日の9時までに行ってください。

10 生活の留意点 (施設ガイドブックより抜粋)

※入所後に行う、オリエンテーションでは、以下のことを詳しく説明します。

1 所内での生活について

- (1) 生活については団体で自主管理を行い、他の団体に迷惑をかけないようにしましょう。
- (2) 活動しやすい服装として、運動ができる服装と、活動の安全のために運動靴を持参してください。
- (3) 館内は禁煙です。喫煙は、定められた場所をお願いします。
- (4) 施設内での、ガムはご遠慮ください。
- (5) 施設・設備・用具を大切に使用し、破損・紛失した場合は必ず届けてください。
- (6) 研修に使用した場所は、使用した団体が、次に利用する団体のために整理・整頓・清掃・消灯・戸締まりを行ってください。
- (7) 食事はバイキング方式です。食事の前には必ず手を洗って時間内に食事を済ませてください。
- (8) ボランティア棟売店では、文房具、日常生活用品、活動に必要な教材等を販売しています。レストランでは、食事代・シーツ等リース代を清算するほか、世界のビール、菓子、ジュース等販売しています。
- (9) 飲食物の持ち込み、差入れ等は、ご遠慮ください。必要な場合は、売店等でご購入ください。
- (10) 利用者の安全確保のため、正面玄関付近への自家用車での乗入れはご遠慮ください。
- (11) 荷物の運搬のある場合は、事務所に届け、所定の場所で行ってください。

2 宿舎での生活について

- (1) 省エネ対策のため、節電節水にご協力ください。
- (2) 各部屋に設置してあるインフォメーションをよく確認してください。
- (3) 荷物や靴は所定の場所にいれ、常に整理整頓をしてください。
- (4) 貴重品はコインロッカーへ入れてください。
- (5) 他の団体の部屋には入らないでください。
- (6) 部屋を出る場合は、電灯やエアコンのスイッチを切り、施錠してください。
〔各部屋または各棟の出入り口を施錠してください。特に、1階を利用している方は、窓を閉め鍵をかけてください。〕
- (7) 寝具の使用法、寝具の片付けについては、各部屋のインフォメーションを参照してください。

3 入浴について

- (1) 「標準生活時間」では17:30～22:00ですが、活動の都合上、時間外に利用したい場合は代表者会議等にて相談してください。
- (2) 男女別、団体での入浴時間については、コミュニケーションボードを確認してください。(大浴室:60人、中浴室:40人)
- (3) 石けんは備え付けがありますが、タオル・シャンプー等は持参してください。
- (4) 利用人数により、時間を短縮することがあります。
- (5) 22:00以降、浴室は施錠します。

4 清掃活動について

- (1) 清掃活動は、7:30～7:50です。（キャンプ場を利用している団体は、活動の中で自主的に計画してください。）
- (2) 使用している部屋と宿舎の廊下・トイレ・洗面所及び共通使用部分の清掃を分担して行ってください。
- (3) 共通使用部分については、各回体に各棟各階ごとに割り当てを行いますので、確認して分担を決めて清掃してください。（コミュニケーションボードでお知らせします。）

5 健康と安全について

- (1) 事前準備
 - ① 健康保険証またはその写し等の持参をお勧めします。
 - ② 慢性疾患等のある方には、常備薬を忘れないように携行してください。
 - ③ 大規模な団体は、なるべく看護師、養護教諭等の同行をお勧めします。
- (2) 利用期間中
 - ① 医務室（管理研修棟1階）で、応急処置をすることができます。担架は、玄関・体育館・グラウンド・第1キャンプ場・艇庫・リネン室にも設置してありますので必要な場合は活用ください。
 - ② 事故・急病等が発生した場合は、すぐに事務室へ連絡してください。活動で所外へ出ている場合は、電話（0823-42-0660）等で連絡してください。
 - ③ 病院での処置が必要な場合は紹介しますので申し出てください。なお、病院への往復は利用団体で行い、その際に「保健カード」（当所指定の用紙）を携行し、医師の診断を記入してもらってください。（緊急を要する場合は、青年の家が救急車を手配します。）
 - ④ 宿泊室等で休養をする場合は、必ず届け出をお願いします。

6 非常時の対応について

- (1) 利用の際には、非常口、避難用具や消火器等のある場所、また避難通路、避難場所（野球場）をそれぞれ確認してください。
- (2) 火災・地震等の発生時には、非常ベル”館内放送で連絡しますので、代表者・引率者は職員の指示に従って利用者を避難場所に誘導してください。
- (3) 避難場所では、代表者は人数・健康状態等を確認して職員に報告してください。

1 1 宿泊室の使用法

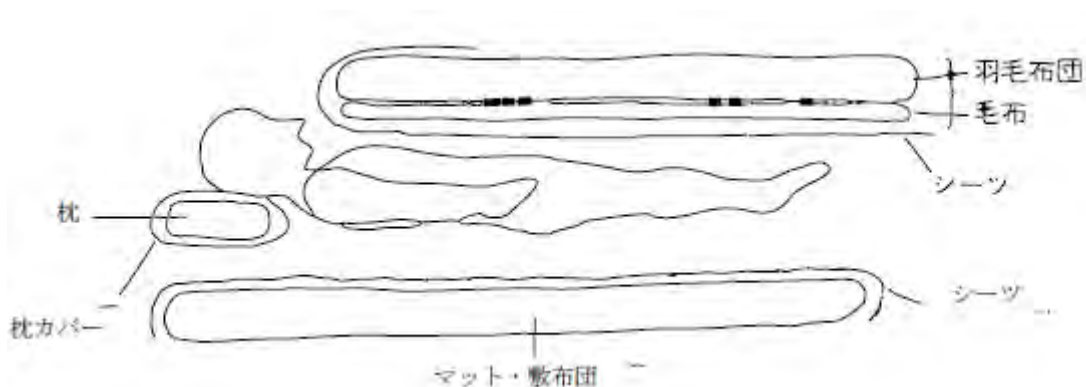
1. 宿泊室の備品

- (1) 洋室・・・・・・・・・・掃除機（1台）、くず入れ（1個）、タオル掛け（1～3台）ハンガー掛け（1台）、ハンガー（1人当たり1本）
- (2) 和室・・・・・・・・・・掃除機（1台）、くず入れ（1個）、タオル掛け（1～2台）ハンガー掛け（壁へ設置）、ハンガー（1人当たり1本）

2. 寝具の数（1人当たり）

- (1) 洋室・・・・・・・・・・掛布団1枚・毛布1枚・ベッドパット1枚・枕1個（冬期） 掛布団1枚・枕1個（夏期）
- (2) 和室・・・・・・・・・・掛布団1枚・敷布団1枚・毛布1枚・枕1個（冬期） 掛布団1枚・敷布団1枚・枕1個（夏期）

3. 寝具の使用法



4. シーツ・枕カバーの貸与・返却

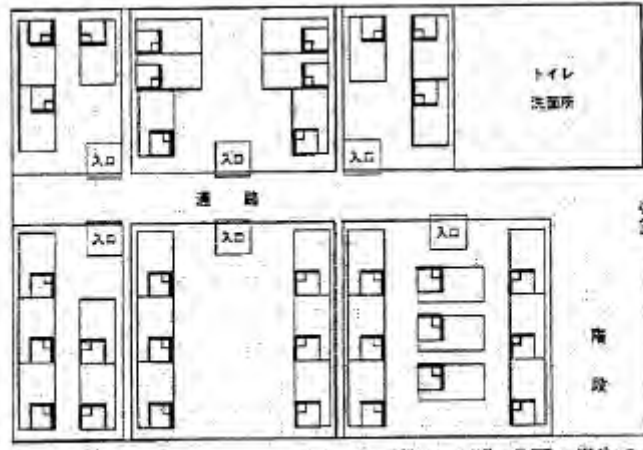
- (1) シーツ・枕カバーの貸与方法
 - ① 到着時の受付で利用巻数を確認します。
 - ② 入室時に、リネン室から人数分を持参してください。
 - (ア) 一人当たりシーツ（2枚）・枕カバー（1枚）です。
 - (イ) 10枚ずつの束ですので過不足は調整ボックスで調整してください。
- (2) シーツ・枕カバーの返却方法
 - ① 利用の最終日の朝、たたんだシーツ・枕カバーを部屋ごとに集めてリネン室へ返却してください。
 - ② リネン室では、シーツと枕カバーを指定された入れ物に分けて返却してください。

5. 毛布のたたみ方



6. 寝具の片付け方（各部屋のインフォメーションを参考にしてください。）

- (1) 洋室：下図のように毛布のA面またはB面が入口から見えるように置いてください。枕は、毛布または掛布団の上に置いてください。



(図の太い線が、A面・B面の部分です。)

- (2) 和室：押入れに整理して置いてください。

7. 宿泊場所の点検について

- (1) 点検内容

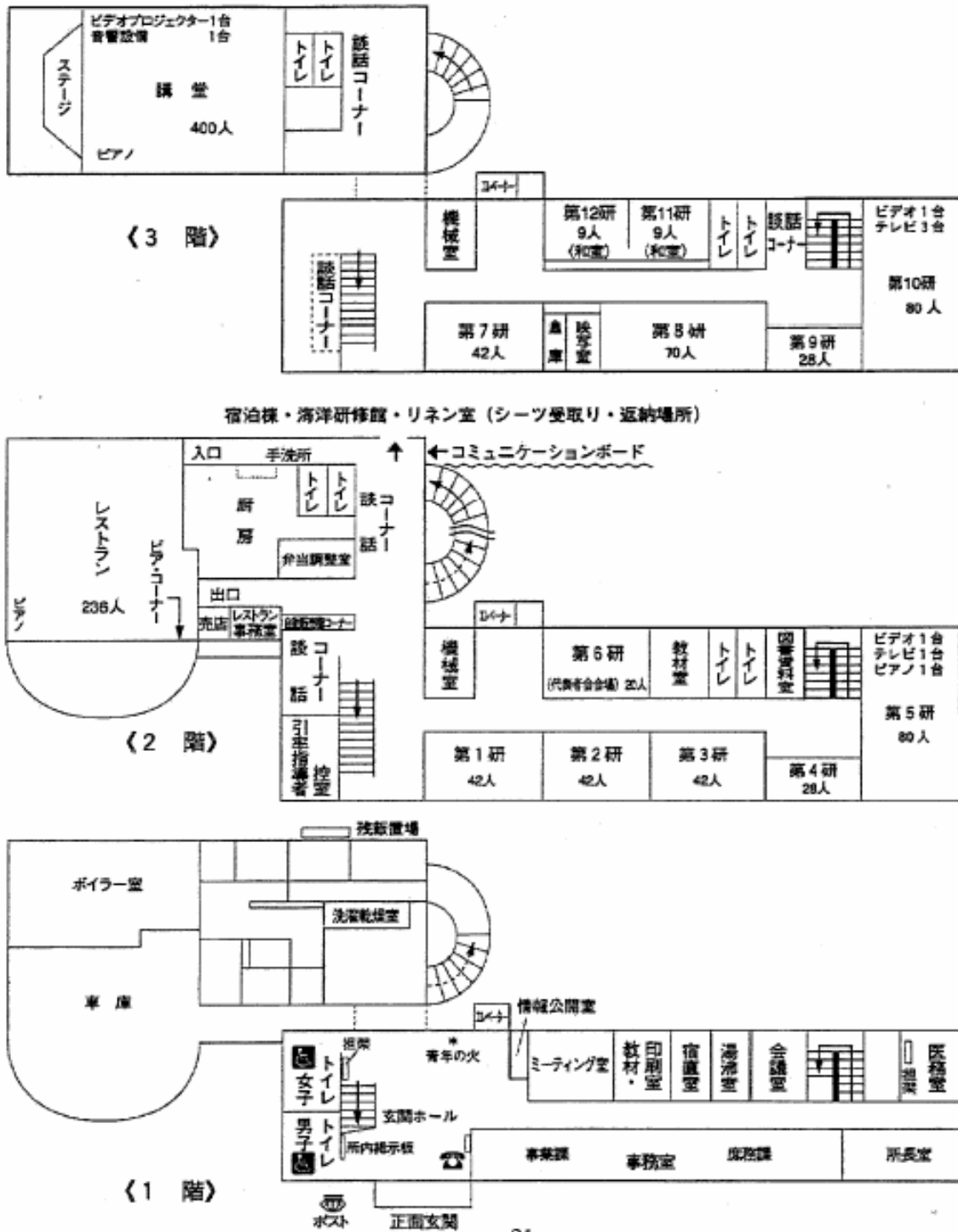
① ゴミの後始末の確認

- (2) 点検時間 9:00または13:00

- (3) 点検の立ち会い

- ① 点検10分前には、室員が荷物を持って移動できるように準備してください。
② 各部屋、廊下等の確認をして、必要に応じて清掃してください。
③ 職員の立ち会いで点検を受けてください。

14 管理研修棟及び講堂・食堂棟平面図



江田島青少年交流の家 施設配置図



交流会（レストランにて）

開催日程 3月8日 19時30開始予定

- ① 各大学の親睦を深めるため、楽しくやりましょう。
- ② 交流会では、自己紹介の場があります。各大学特色のある、芸を用意して楽しく自己紹介をしましょう。
- ③ 次の日のリーゼミ選手権のチーム決めを行います。

注意：交流会ではアルコールが出されます、未成年の方は、控えるようにしましょう。

リーゼミ選手権

開催日程 3月9日午前9時開会

- ① チームは3人1組とし、男子2名、女子1名を原則とする
- ② 試合時間は3分30秒とする。
- ③ 審判は学生審判で行う。
- ④ チーム決めは、前日の交流会で行う。
- ⑤ 男子対男子、女子対女子のときは、3本勝負である。
- ⑥ 女子対男子の場合は、女子が一本とっているものとして試合を行う

リーダーゼミナール アンケート (平成21年3月9日)

リーダーゼミナールをよりよくするために、参加された皆様からの感想を賜りたいと思います。以下の質問項目にお答えください。

1、開催時期について

- ①良い ②まあ良い ③普通 ④あまり良くない ⑤悪い

* ご意見をお聞かせください

2、日数について

- ①長い ②適切 ③短い

* ご意見をお聞かせください

3、開催場所について

- ①良い ②まあ良い ③普通 ④あまり良くない ⑤悪い

* ご意見をお聞かせください

4、企画内容について

- ①良い ②まあ良い ③普通 ④あまり良くない ⑤悪い

* ご意見をお聞かせください

5、参加費用について

- ①高い ②適切

* ご意見をお聞かせください

参加者(92名)								
部屋番号	男子学生(44名)			部屋番号	女子学生(28名)			
	氏名	大学	学年		氏名	大学	学年	
105	下田 亮一	愛媛大学	2	108	藤倉 路子	岡山県立大学	1	
	和田 成統	愛媛大学	2		竹山智子	岡山県立大学	1	
	古川 達也	山口大学	2		宮崎 唯	岡山理科大学	1	
	北村 泰彦	山口大学	1		佐藤 ひとみ	徳山大学	3	
	高原 宏吏	山口大学	1		宮川 藍	就実大学	2	
	櫻井 宏樹	広島大学	2		岡田仁美	就実大学	1	
	正木雄晴	四国大学	1		谷江 恵美	清心女子大学	3	
	國土 達也	鳥取大学	2		小笠原 忍	清心女子大学	2	
	濱田 岳	鳥取大学	2		井上 千栄	吉備国際大学	2	
	吉田 光良	吉備国際大学	2		川口 みなこ	鳥取大学	2	
106	松田 祐輝	岡山大学	2	109	中村 一都美	鳥取大学	1	
	久常 典郎	岡山大学	2		庵谷 知代	山口大学	2	
	松下 寛長	香川大学	2		富谷 友美	川崎医療福祉大学	2	
	川端 崇明	松山大学	2		横山 由季	川崎医療福祉大学	2	
	尾上 聡	岡山県立大学	1		石川 佳世子	香川大学	2	
	内田 貴大	岡山県立大学	1		椎葉由紀	高知大学	2	
	町田 啓	岡山県立大学	1		柿葉香織	高知大学	2	
	森慎 治	高知大学	2		鈴木 綾子	島根大学	3	
	二宮 裕	高知大学	2			島根大学		
	嵯峨山 雄一	鳴門教育大学	1		小窪 睦	聖カタリナ大学	2	
107	土手 涼輔	鳴門教育大学	1	奥田 美香	聖カタリナ大学	2		
	岩田 章宏	広島工業大学	2	白井 希	広島国際大学	2		
	川岡 良	広島工業大学	2	山中 悠記子	広島国際大学	2		
	佐々木 竜太	広島工業大学	1	山本 美和	広島工業大学	1		
	塩 田 十	広島国際大学	2	村上 佳織	松山大学	2		
	塚田 千幾	広島国際大学	1	草野 由梨	広島文教大学	2		
	勳道 貴博	広島国際学院大学	1	上田 智子	広島文教大学	2		
	益田 洋	広島国際学院大学	1	福田 史子	広島大学	2		
	玉井 直樹	広島国際学院大学	1	役員等(20名)				
	田中 将吾	福山大学	3	男子学生役員(9名)				
108	杉山 真太郎	福山大学	2	104	野亀 浩誉	愛媛大学	3	
	上田 慈生	近大工学部	2		岡田 雄太	愛媛大学	2	
	徳野 悠太	近大工学部	2		磯中 竜一	愛媛大学	1	
	井上 一喜	岡山理科大学	2		山口 大二郎	岡山大学	3	
	野中 大介	岡山理科大学	2		浅越 康太	岡山大学	2	
	兼清 亮太	岡山理科大学	1		山崎 史暁	香川大学	3	
	黒宮 聡	岡山理科大学	1		山地 裕士	香川大学	2	
	木本 充浩	岡山理科大学	1		岡崎 啓史	広島大学	3	
	園田 哲也	岡山理科大学	1		西田 悠作	広島大学	2	
	坂本 祐也	徳山大学	3		女子学生役員(3名)			
講師室	皿田 大	徳山大学	2	101	井上 朋美	岡山大学	3	
	松原 将司	島根大学	3		小野瀬 朱美	岡山大学	2	
	吉田 輝彦	島根大学	3		岡田 尚子	広島大学	2	
	安味 俊宣	島根大学	3		先輩理事・講師(8名)			
					101	山神 眞一	香川大学	講師
						大森 博之	愛媛大学	理事
						木原 資裕	鳴門教育大学	理事
						矢野 宏光	聖カタリナ大学	理事
					102	香川 直己	福山大学	理事
						廣畑 栄三	岡山県	理事
			榊 康守	徳山大学		理事		

大学生に求められる倫理

講師（森正典先生）

1 趣旨

萬里一条轍（ばんり いちじょうの てつ）

2 倫理の意義

(1) 倫理とは

「人として守るべき道」を意味する。

人間として社会から求められる行動の在り方を規定するもの。

倫理は「倫」と「理」の二つの語からなっているが、この二つの語は、人間の共同存在、つまり複数の人間が存在しているこの社会を、複数の人が生きていけるような秩序＝道を意味している。

つまり、人間が存在している社会が正しく、かつ快適にあるための理法が倫理だと言える。社会は、本質的にひとつの調和と見なされる。社会の起源の当時から、自然という無秩序に変えて、知的な秩序を持たせたわけである。人間が持つさまざまな能力と欲求を象（かたど）って生きている人間の、さまざまな階級の間で確立された平衡であると説明されている。

～ 中略 ～

日本にも道徳として倫理の花は咲いていた。武士道しかり、商人道またしかり。工人や農民、漁民に至るまで「道」という倫理をしっかりと持っていた。

しかもそれは、職業倫理であるとともに一般倫理でもあった。

「人間生活と職務」評論家・坂田不二夫

(2) 社会生活における倫理の必要性

(3) 法律との関係

3 大学生と倫理

4 大学生の倫理観の現状を窺わせるもの

（新聞記事参照）

5 剣道を志す大学生へ

武士道を踏まえて鍛えて欲しいこと（強い倫理観の醸成）

(1) 自覚

このごろの奉公人（武士）を見ると、目の付け所がひどく低俗である。まるでスリのような目つきをしている。

おそらく、あまりにも欲得ずくであったり、利口ぶっていたりするためであろう。少しは腹がすわっている者かと思うと、ただ格好をつけているだけだったりする。

我が身を主君に捧げ、生きながら幽霊となって、絶えず主君のことを考え、きちんと仕事をし、鍋島藩をゆるぎないものにする。ここに目を付けなければ、奉公人とは言えない。この心構えについては、上下の区別はない。

ここに腰を据えて、例え神仏にさそわれようが動揺しないと覚悟を決めなければならぬ。（葉隠聞書第1～36）

【教訓】

自覚

形（表れ）～礼儀正しさ

内心（志）～社会に役立つ

覚悟（自覚）～動揺しない

(2) 責務

（武士道は）今なお我々の間における力と美との活ける対象である。それはなんら手に触れうべき形態を取らないけれども、それにかかわらず道徳的雰囲気香らせ、我々をして今なおその力強き支配のもとにあるを自覚せしめる。（中略）

武士がその職業においてまた日常生活において守るべき道を意味する。一言にすれば「武士の掟」、すなわち武人階級の身分に伴う義務（ノーブレス・オブリージュ）である。（中略）

武士道は上述のごとく道徳的原理の掟であって、武士が守るべきことを要求されたもの、もしくは教えられたものである。

（矢内原忠雄訳、新渡戸稲造著「武士道」第1章）

【教訓】

- 日本人の精神そのもの
- ノーブレス・オブリージュ（身分に伴う義務）
- 義務でなく責務

(3) 五輪・五常

武士道の三つの魂 ～ 仏教・神道・儒教（新渡戸稲造「武士道」）

仏教 ～ 運命に任すという平静なる感覚、不可避に対する静かなる服従、危険災禍に直面しての沈着、生を賤しみ死を親しむ心、仏教は武士道に対してこれらを与えた。

神道 ～ 神道の教義によりて刻み込まれた主君に対する忠誠、祖先に対する尊敬、親に対する孝行は他のいかなる宗教によっても教えられなかったもので、これによって武士道の傲慢なる性格に服従性が賦与せられた。

儒教 ～ 孔子や孟子の唱えた倫理道徳観、即ち、「人として守るべき五つの道（五輪）」、具体的には君臣の義、父子の親、夫婦の別、兄弟の長幼の序、朋友の信。また、「人が守るべき五つの道徳（五常）」、仁、義、礼、智、信を説く。

この五輪・五常が武士道の骨格となっている。

（志村史夫著「いま武士道を読む」）

【教訓】

- 武士道の淵源

- 今も続く儒教の教え

(4) 良心

義は武士の掟中最も厳格なる教訓である。武士にとりて卑劣なる行動、曲がりたる振る舞いほど忌むべきものはない。

(矢内原忠雄訳、新渡戸稲造著「武士道」第3章)

義は人が喪われたる樂園を回復するために歩むべき直ぐかつ狭き路である。

(孟子)

良心の掟

義のことを「人としての正しい道」といっても、それは個人的な観念であり、いわば「道徳」である。実行しなければ罰せられるといった「法律」とは違う。法律ならば「してはいけないこと」が法文化されていて明確にわかるが、道徳は人間の内に据えられた「良心の掟」であり、その基準は個人によって違うからである。

では、良心の掟とされる普遍的な道徳とは何か。

- 人にやさしくあれ
- 正直であれ
- 約束を守れ
- 弱い者をいじめな
- 卑怯なことをするな
- 人に迷惑をかけるな

などがあげられ、人が人として行わなければならない良心のことだ。だからこれを犯すとき、われわれは「良心の呵責」に襲われるのである。

(岬龍一郎著「新渡戸稲造 美しき日本人」)

【教訓】

- 良心の掟

(5) 勇・敢為堅忍 (かんいけんじん) の精神

勇気は、義のために行われるのでなければ、徳の中に数えられるにほとんど値しない。孔子は「論語」において、その常用の論法に従い消極的に「勇」の定義を下して、「義を見てせざるは勇なきなり」と説いた。この格言を積極的に言い直せば、「勇とは義 (ただ) しきことをなすことなり」である。

(矢内原忠雄訳、新渡戸稲造著「武士道」第4章)

【教訓】

- 義を見てせざるは勇なきなり (論語)

- 成せば成る 成さねば成らぬ何事も 成さぬは人の成さぬなりけり

- 浩然の気

(6) 仁・惻隱の心

仁は柔和なる徳であって、母のごとくである。進直 (しんちよく) なる道義と厳格なる正義とが特に男性的であるとすれば、慈愛は女性的なる柔和さと説得性を持つ。(中略)

幸いにも慈愛は美であり、しかも希有ではない。「最も剛毅なるものは最も柔和なる者であり、愛ある者は勇敢なるものである。」とは普遍的に真理である。

(矢内原忠雄訳、新渡戸稲造著「武士道」第5章)

【教訓】

- 武士の情け

- 惻隱の情

(7) 誠

虚言遁辞（とんじ）はともに卑怯とみなされた。武士の高き社会的地位は、百姓町人よりも高き信実の標準を要求した。「武士の一言」と言えば、その言の真実性に対する充分なる保障であった。武士は、然諾（ぜんだく；よしとして受け入れること）を重んじ、その約束は一般に証書によらずして結ばれかつ履行せられた。証文を書くことは、彼の品位にふさわしくないと考えられた。

（矢内原忠雄訳、新渡戸稲造著「武士道」第7章）

【教訓】

- 虚言・遁辞

- 武士道と商人道

武士は喰はねど高楊子

- 誠
行動基準としての「誠」は、「全力を打ち込むこと」で、誠心誠意という言葉のとおり「己を尽くす」という一事に極まる。

(8) 名誉

廉恥心は少年の教育において養成せらるべき最初の徳のひとつであった。「笑われるぞ」「恥ずかしくないか」等は、非を犯せる少年に対して正しき行動を促すための最後の訴えであった。少年の名誉心に訴えることは、あたかも彼が母胎の中から名誉をもって養われていたかのごとく、彼の心情の最も敏感なる点に触れたのである。

（矢内原忠雄訳、新渡戸稲造著「武士道」第8章）

【教訓】

- 廉恥心

- 兄弟喧嘩等で学ぶこと

- 名誉で増幅する生き甲斐
人を成長させる誘因の一つは名誉を求める素直な気持ちであり、名誉は人々にひとしお生きている張り合いを増す。

(9) 忠義

頼山陽はかれの偉大なる「日本外史」において、父の逆行行為に関する平重盛胸中の苦闘をば、惻々たる言葉をもって述べている。「忠ならんと欲すれば孝ならず、孝ならんと欲すれば忠ならず」。哀れむべし重盛！彼れ後、魂を傾けて死を天に祈り、純潔と正義の住難きこの世より開放せられんことを願いしをみるのである。

（矢内原忠雄訳、新渡戸稲造著「武士道」第9章）

【教訓】

- 節義の士（節義の嗜み） ～ 組織人としての在り方

節義＝節操を守り正道を踏み行うこと

口に偽りを言わず、利己的な態度を構えず、心は素直にして外に飾りなく、作法を乱さず、礼儀正しく、上にへつらわず、下を侮らず、他人と交わした約諾（やくだく）を違えず、人の艱難を見捨てず、己がすまじきことをせず、死すべき場をば一歩も退かず、常に正義と道理を重んじ、その心は鉄石のごとく強固であり、また穏和慈愛にしてもののあわれを知り、人に情けあるを節義の士と申すのである。

（室鳩巢「明君家訓」）

(10) 克己

一方において勇の鍛錬は眩（つぶや）かずに耐えることを銘記せしめ、他方において礼の教訓は我々自身の悲哀もしくは苦痛を露（あら）すことにより他人の快樂もしくは安静を害せざるよう要求する。

（矢内原忠雄訳、新渡戸稲造著「武士道」第11章）

【教訓】

- 克己

鍛錬に耐える個人的な資質

意志の力で自分の衝動、欲望、感情等を抑えること

人の世に処するというものは、苦しいことも嬉しいこともいろいろあるものだ。その苦しいことというものに耐えなければ、忠孝だの、国家の経綸だのといったところでとうてい成し遂げられるものではない。この苦しいことに堪えるということは、平成から錬磨しておかなければ、その場合に限ってできるものではない。

（長岡藩家老河井継之介）

誰に対戦したいというものはない

自分が向上すれば必ず打てる

（松井秀喜）

6 非違非行を避けるために

(1) 強い倫理観の醸成

部活の幹部

① 剛毅な責任感 ～ 自責に堪える自己研鑽

② 重厚にして恭謙 ～ 人間としての実力

実力の貧寒な者ほど自己顕示

足下、自分を大切に

③ 公正にして恕 ～ 客観的に寛大に

私心を去り物欲を遠ざけ

精神心情を純粋に

自分で考え 自分で行動する

(2) 非違非行に繋がる条件の排除

ア 弱さの自覚

イ 条件の排除

ウ 組織としての人間教養

本気（しんみん）

本気になると世界が変わってくる 自分が変わってくる
変わってこなかったら
まだ本気になっていない証拠だ
ああ 人間 一度こいつをつかまんことには

「五省」（一日の行動の反省）

- 至誠に悖（もと）るなかりしか
- 言動に恥ずるなかりしか
- 気力に欠くるなかりしか
- 努力に憾（うら）みなかりしか
- 不精に亘るなかりしか

- ◇ 行いに悔ゆることなかりしか
- ◇ 礼儀に欠けることなかりしか
- ◇ 誠意に欠けることなかりしか
- ◇ 感謝と奉仕の精神に欠けることなかりしか
- ◇ 率先の勇氣に欠けることなかりしか

- 口舌に終わっていないか
- 易きについていないか
- 勇氣に欠けていないか
- 自己中心になっていないか
- 国家・人類を忘れていないか

（「現代に生かす海軍名言録」上村嵐著より）

集団暴行・早大サークル

「声かけ役」 飲ませ役 段取り

介抱装う悪らつ手口



和田 一郎

早大二年の和田一郎等
 慶徳28の五人が警視庁に
 婦女暴行容疑で逮捕された
 同大のサークル「スーパー
 フリー」(今月二十一日)
 解散後、名古屋や大阪な
 ど各地に支部を設け、二
 千人規模のパーティーを毎
 月の七、八日開いていた。学
 生たちは「スーパー」の
 名でも名で、同大の事情届
 取「近隣などを回ったけれ
 ど、悪しかった」と語った
 女子大生もいた。捜査員は
 「事件発生まで被害の相談
 がなかったのが不思議な
 くらい」と首をかしげる。

代表ら五人が婦女暴行容疑で逮捕された早大の学
 生サークル「スーパーフリー」のパンフレット

名古屋、大阪にも支部

毎月、2000人パーティー

「スーパーフリー」の活動は、
 早大のサークル「スーパーフリー」代表で、
 早大の和田一郎等五人が、
 三入と、警視庁大、日大の学生計五人、
 三月十八日、東京・六本木の
 夜、毎月十八日、東京・六本木の

スタツプや参加した事
 大生の語では、「スーパー
 フリー」のパーティーは、
 入の口でスタツプのスタツ
 フが下着に出入り、男
 の服装に入った女性を
 見つけると、和田の同
 期生らが取る「マイ
 ルーム」へと案内してい

一部容疑者、暴行認める

「スーパーフリー」の
 代表者ら五人は、
 同大の事情届取に
 記述された通り、
 同大の事情届取に
 記述された通り、
 同大の事情届取に
 記述された通り、

「スーパーフリー」は、
 一九八二年に同大で結成
 された。和田等は、
 一九八二年に同大で結成
 された。和田等は、
 一九八二年に同大で結成
 された。和田等は、

「スーパーフリー」は、
 一九八二年に同大で結成
 された。和田等は、
 一九八二年に同大で結成
 された。和田等は、
 一九八二年に同大で結成
 された。和田等は、

「スーパーフリー」は、
 一九八二年に同大で結成
 された。和田等は、
 一九八二年に同大で結成
 された。和田等は、
 一九八二年に同大で結成
 された。和田等は、

「スーパーフリー」は、
 一九八二年に同大で結成
 された。和田等は、
 一九八二年に同大で結成
 された。和田等は、
 一九八二年に同大で結成
 された。和田等は、

早稲田、学習院、日大生ら5容疑者

女子大生に集団暴行

主催パーティーで

主催するパーティーに参加した女子大生に集団で暴行したとして、警視庁麻布署は十八日までに、東京都豊島区高田三、早稲田大二年でイベントサークル「スーパーフリー」代表の和田真一郎(28)、横浜市東区西が岡二、学習院大二年小林大輔(20)、神奈川県茅ヶ崎市今頃、日大三原村(21)の三容疑者ら、私大生計五人を婦女暴行容疑で逮捕した。

調べによると、和田容疑者ら五人は、先月十八日午後八時半ごろ、東京都豊島区六本木の雑居ビルにある居酒屋で飲食中、酔っていた女子大生を店外に連れ出し、ビル内の階下付近で集団で暴行した疑い。

和田容疑者が代表を務める「スーパーフリー」はこの日午後三時頃からこのビルに集まり、「有名私大生が集まる」といふふれ込みでパーティーを開催、終了後の午後六時すぎから、近くの居酒屋に場所を移し二次会を開いた。この二次会には約二十人が参加、五人は肩振りを立てて女子大生を暴行したといふ。

女子大生は「五人を襲撃した処で飲酒」と、その日のうちに麻布署に被害届を出した。五人は「合衆の上」と容疑を否認しているといふ。

「スーパーフリー」は一九八二年に早稲田大のイベント企画サークルとして発足した。サークルのホームページは「すぐきな出さぬ」をうたい、様々な大学の学生がイベントに参加しているといふ。

私大生による集団暴行事件は後を絶たない。一九九九年七月には慶応大医学部の学生五人が女子大生を暴行、同年十月には中央大生らが女子中学生を集団暴行したとしてそれぞれ逮捕された。

このほか、東京都内では

今月十七日、知人の少女(18)にアレクラで知り合った男性(21)と交際中友人行為をさせ、それにつけ込んで暴行した日大三年生(20)ら五人が渋谷署に逮捕されている。

和田被告 2審も懲役14年

「スパイフリー」懸らつ集団、率先

「スパイフリー」の組織維持に力をつくした。元代表の和田真一(懲役14年)は、(株)スパイフリー(現名)の代表取締役社長として、組織維持に力をつくした。元代表の和田真一(懲役14年)は、(株)スパイフリー(現名)の代表取締役社長として、組織維持に力をつくした。

左記被告の(株)スパイフリーは、昭和47年10月10日設立された。代表取締役社長は、被告の和田真一(懲役14年)である。被告の和田真一は、昭和47年10月10日設立された(株)スパイフリーの代表取締役社長として、組織維持に力をつくした。

1人実刑、2人猶予

東京メトロ 労働組合 1人実刑、2人猶予

東京メトロ労働組合のメンバーが、昭和47年10月10日設立された(株)スパイフリーの代表取締役社長として、組織維持に力をつくした。被告の和田真一は、昭和47年10月10日設立された(株)スパイフリーの代表取締役社長として、組織維持に力をつくした。

早大ラグビー部 役員と監督処分

早稲田大学のラグビー部は、昭和47年10月10日設立された(株)スパイフリーの代表取締役社長として、組織維持に力をつくした。被告の和田真一は、昭和47年10月10日設立された(株)スパイフリーの代表取締役社長として、組織維持に力をつくした。

被告を三年間停止した。

早稲田大学のラグビー部は、昭和47年10月10日設立された(株)スパイフリーの代表取締役社長として、組織維持に力をつくした。被告の和田真一は、昭和47年10月10日設立された(株)スパイフリーの代表取締役社長として、組織維持に力をつくした。

京大 名門チーム汚点

水野監督「裏切られた」

アメフト元部員集団暴行

「アメフト元部員」として、水野監督は、京大アメフト部の暴行を、京大アメフト部の暴行と見做す。水野監督は、京大アメフト部の暴行を、京大アメフト部の暴行と見做す。水野監督は、京大アメフト部の暴行を、京大アメフト部の暴行と見做す。

「アメフト元部員」として、水野監督は、京大アメフト部の暴行を、京大アメフト部の暴行と見做す。水野監督は、京大アメフト部の暴行を、京大アメフト部の暴行と見做す。

鍋パーティーで 焼酎ルーレット

「アメフト元部員」として、水野監督は、京大アメフト部の暴行を、京大アメフト部の暴行と見做す。水野監督は、京大アメフト部の暴行を、京大アメフト部の暴行と見做す。

「アメフト元部員」として、水野監督は、京大アメフト部の暴行を、京大アメフト部の暴行と見做す。水野監督は、京大アメフト部の暴行を、京大アメフト部の暴行と見做す。

学生の間種事件続発

「アメフト元部員」として、水野監督は、京大アメフト部の暴行を、京大アメフト部の暴行と見做す。水野監督は、京大アメフト部の暴行を、京大アメフト部の暴行と見做す。

集団心理が怖い

大規模の元部員力士で、東海学園大相撲部監督の飯沼祐児さんの語「信じられない。逮捕された理由は自分たちが常に罰則にされる立場だということとどうも関係していたのか。私のクラブは部員13人だが、腹をこわすと声を掛け、情報交換に努めている。ただ、腹を飲んで罰則を外している時など、学生の集団心理が怖いと感じたことはある」

選手の時り薄

池井戸・京大名門教授の語「スポーツ選手としての誇りが薄くなっているのではないかと。周囲からちやひやされる存在だったのだろう。思いつきがあったのだらう。追いついて最近の学生は幼いため、大人として扱うのではなく、情けないが、罰則から守る」

「アメフト元部員」として、水野監督は、京大アメフト部の暴行を、京大アメフト部の暴行と見做す。水野監督は、京大アメフト部の暴行を、京大アメフト部の暴行と見做す。

強豪むしばむ不祥事

京大生集団暴行

退部恐れ甘い指導
選手側管理嫌う傾向

京大生が、日本一を目指すという目標を掲げ、女子バスケットボール部の練習を激しく監視していた。選手側から「甘い指導」が受け、選手側から「選手側管理嫌う傾向」が指摘されている。



女子バスケットボール部の練習を激しく監視していた。選手側から「甘い指導」が受け、選手側から「選手側管理嫌う傾向」が指摘されている。

女子バスケットボール部の練習を激しく監視していた。選手側から「甘い指導」が受け、選手側から「選手側管理嫌う傾向」が指摘されている。

選手側から「甘い指導」が受け、選手側から「選手側管理嫌う傾向」が指摘されている。

広がる波紋 各大学が防止策

女子バスケットボール部の練習を激しく監視していた。選手側から「甘い指導」が受け、選手側から「選手側管理嫌う傾向」が指摘されている。

学生の不祥事に対する各大学の取り組み

立命館大	アメフト部会員に事件の内幕を知らせ、自費を返すメールを送信
関西学院大	2月1日のアメフト部の全体ミーティングで注意喚起
国士館大	道徳科授業の指導者を筆中し、来月で月2回、学生の悩みや生活の困難にのり新入生ガイダンスでゼミラルを説明、教員による個別対応への注意喚起
早稲田大	法令遵守、情報開示などの企業研修を総合、不祥事が起きる背景などを分析
京福大	学生らによる学生会が急遽臨時総会を開き、小冊子を配布し学生に自覚を促し、新入生受け入れを調整する監督会議で学生部がルール、マナーを守るよう説明書をおく機会などにセクハラをしないよう注意喚起を年2回文書で実施
日本体育大	
北九州国立大	
甲府大	
前橋大	

女子バスケットボール部の練習を激しく監視していた。選手側から「甘い指導」が受け、選手側から「選手側管理嫌う傾向」が指摘されている。

女子バスケットボール部の練習を激しく監視していた。選手側から「甘い指導」が受け、選手側から「選手側管理嫌う傾向」が指摘されている。

選手側から「甘い指導」が受け、選手側から「選手側管理嫌う傾向」が指摘されている。

倫理教育どこまで

プログラム模索

大学でも、倫理教育が人々の関心を集めるには、いかにして教育がなされるのか。大分県立大学の学生生活部長が、この問題について、記者と対談した。記者は、大分県立大学の学生生活部長と対談した。記者は、大分県立大学の学生生活部長と対談した。記者は、大分県立大学の学生生活部長と対談した。



中央教育審議会委員の田中一、早稲田大学長の新「生活指導」の重要性を述べ、大分県立大学の学生生活部長と対談した。記者は、大分県立大学の学生生活部長と対談した。記者は、大分県立大学の学生生活部長と対談した。

生活指導 必要に

「生活指導」は、学生生活の中心である。大分県立大学の学生生活部長は、この問題について、記者と対談した。記者は、大分県立大学の学生生活部長と対談した。記者は、大分県立大学の学生生活部長と対談した。

「倫理教育」に関する教育のプログラムを模索している。大分県立大学の学生生活部長は、この問題について、記者と対談した。記者は、大分県立大学の学生生活部長と対談した。記者は、大分県立大学の学生生活部長と対談した。

「倫理教育」に関する教育のプログラムを模索している。大分県立大学の学生生活部長は、この問題について、記者と対談した。記者は、大分県立大学の学生生活部長と対談した。記者は、大分県立大学の学生生活部長と対談した。

「倫理教育」に関する教育のプログラムを模索している。大分県立大学の学生生活部長は、この問題について、記者と対談した。記者は、大分県立大学の学生生活部長と対談した。記者は、大分県立大学の学生生活部長と対談した。

「倫理教育」に関する教育のプログラムを模索している。大分県立大学の学生生活部長は、この問題について、記者と対談した。記者は、大分県立大学の学生生活部長と対談した。記者は、大分県立大学の学生生活部長と対談した。

「倫理教育」に関する教育のプログラムを模索している。大分県立大学の学生生活部長は、この問題について、記者と対談した。記者は、大分県立大学の学生生活部長と対談した。記者は、大分県立大学の学生生活部長と対談した。

「倫理教育」に関する教育のプログラムを模索している。大分県立大学の学生生活部長は、この問題について、記者と対談した。記者は、大分県立大学の学生生活部長と対談した。記者は、大分県立大学の学生生活部長と対談した。

「倫理教育」に関する教育のプログラムを模索している。大分県立大学の学生生活部長は、この問題について、記者と対談した。記者は、大分県立大学の学生生活部長と対談した。記者は、大分県立大学の学生生活部長と対談した。

「倫理教育」に関する教育のプログラムを模索している。大分県立大学の学生生活部長は、この問題について、記者と対談した。記者は、大分県立大学の学生生活部長と対談した。記者は、大分県立大学の学生生活部長と対談した。